

公式訪問団が

姉妹都市

ヘンダーソンビル市を

訪問



友好の絆は市民の 心と心のつながり

都留市がアメリカ合衆国テネシー州ヘンダーソンビル市と姉妹都市の提携をしたのは、今から十二年前の昭和五十八年五月十八日のことでした。以前から、文化使節団の受け入れなど数々の交流を重ねた結果、お互いが認め合う中で、姉妹都市提携という結論に達したものでした。この記念すべき提携調印は、当時の高部通正市長（現友好委員会会長）を団長とする、公式訪問団がヘンダーソンビル市を訪れ、行ったものです。

姉妹都市の歴史は、この日から始まりしました。以後、昭和六十一年に都留市側からヘンダーソンビル市へ、そして昭和六十三年には、初めてのヘンダーソンビル市からの公式訪問団が都留市を訪れました。この際に、今後の姉妹都市交流をいかに実のあるものへと導いていくべきか、両市の首脳が膝を交えた幹部会議を開催し、二年に一度の公式訪問団の相互派遣を行うことなど、さらなる交流を約束しました。

この幹部会議での結果をもとに、実現したのが平成二年の第三回公式訪問団派遣でした。この時の訪問団は、青年層を主体に、都留青年会議所、市民合唱団、ボーイスカウトそして桂高等学校の先生等が同行しました。

桂高等学校は、この国際化時代に対応できる生徒の育成に目を向けてきました。そこで、都留市と姉妹都市関係にあるヘンダーソンビル市の高校との交流の中で生徒たちに国際感覚を身につけてもらおうと、この訪問団派遣に先立って、桂高等学校側から、何か具体的にヘンダーソンビルの高校と交流がもてないかと、相談を受けました。

これに応え、両市の友好委員会が仲立ちをする中で、桂高校とヘンダーソンビル市両校の先生方と綿密な話し合いの結果、桂高等学校とヘンダーソンビル市内の二校、ピーチ高校とヘンダーソンビル高校の姉妹校締結に向け話し合いが進められました。

桂高等学校の先生方の努力が実り、この公式訪問団の日程の中で、訪問団の一行が見守る中、姉妹校の締結が結ばれました。平成二年四月二十七日のことでした。新たな若い世代の交流のページがスタートしたのです。これを契機に、現在まで双方の姉妹校派遣団の訪問など、数々の交流が続いています。この八月には桂高等学校側から初めての長期留学生として平林千絵さんが五カ月間現地の高校に通っています。

都留青年会議所も昭和六十二年に第一回ちびっこ使節団をヘンダーソンビル市に派遣、また、平成四年にも小学校六年生で構成した派遣団がヘンダーソンビル市を訪問

しました。まさに、次の時代を担う子どもたちの姉妹都市交流の参加が実現されたのです。

平成五年には、姉妹都市提携十周年を記念して都留市で記念式典を行いました。この際、ヘンダーソンビル市からハンク・トンプソン市長をはじめ、公式訪問団一行二十六名が都留市を訪れ、十周年を祝いました。

今回の公式訪問団は都留市側から数えて四回目のヘンダーソンビル市訪問となりました。一行は都倉市長を団長とする十五名で、青年会議所、文化協会、市民合唱連盟、桂高等学校の代表で構成されました。ヘンダーソンビル市内には、四泊五日のホームステイを通じて滞在、お互いの文化を理解し、友好を深める絶好の機会となりました。

ヘンダーソンビル市では、今回も今後の交流など、具体的な内容を討議するため、幹部会議が行われました。両市の友好関係がこれまで、理想的な方向で展開してきたのも、市民の草の根交流があったからこそです。そこで、今後も市民のこうした交流を積極的にアシストしていかうと具体的な交流について活発な話し合いを行いました。この中で、数々の新しい交流が約束されました。

来年五月二日には、都留市合唱連盟から約四十名をめぐりに編成する市民合唱団がヘンダーソンビル市内で、ヘンダーソンビル市民合